

～選考を終えて～

今年度の都市美デザイン賞への応募総数は28通あり、応募件数としては、一般建築部門6件、住宅建築部門17件の計23件であった。テーマ部門と街並み・まちづくり部門には応募が無かった。これらについて一次審査及び現地調査を含む二次審査に基づき各部門ごとに審査した結果、一般建築部門に2件、住宅建築部門に2件がそれぞれ受賞した。なお、特賞は該当なしとなった。

一般建築部門2件の入賞物件は立地条件が全く対照的であり、1件は歴史的寺院の境内に建つ納骨堂（霊廟）という小規模建築物であり、周辺の緑豊かな自然環境に溶け込むような景観を創り出しているとして高く評価された。もう1件は、高知城に近い県庁前の交差点の角地に立地するオフィスビルの建て替えであった。高さ制限が緩やかな商業地域にあって、あえて高さを抑え周辺建物とのスカイラインを合せており高知城周辺の景観を守りつつ近隣の商業ビル建て替え時のモデルとなり得るなどの点が評価された。

住宅建築部門の入賞物件は、いずれもデザイン性の高い建物が選ばれた。1件は市街地の住宅地域の中で住宅デザインと植栽の緑が街並みに潤いを与えているとして、もう1件は、郊外の住宅団地の一角にあって、個性的で斬新な建物デザインで新しい景観の創造に寄与する住宅建築として、それぞれが評価された。

高知市景観審議会 会長 西島 芳子



第29回 高知市

都市美デザイン賞

Kochi City Scenery Design Award



2013
受賞

こころ豊かな景観を創り出すために

The 29th Kochi City Scenery Design Award

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを創造しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させ、美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています

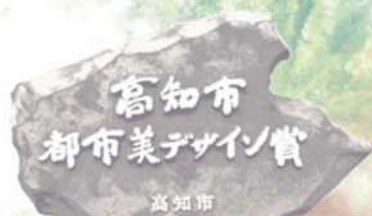
過去5年間の受賞一覧

実施回 (実施年)	受賞物件名
第24回 (2008)	K邸 一圓邸
第25回 (2009)	竹格子のある家 特選呉服いしはら 「くじらドーム」高知駅舎大屋根 △JＲ土讃線鉄道高架橋
第26回 (2010)	B-CYCLE とさてらす H邸 光格子が出迎える家
第27回 (2011)	お食事だいせい 青木歯科 あかり格子の家 山谷のせせらぐ家 △ブッダドームとめぐりのもり
第28回 (2012)	高知県立県民文化ホール（改修工事） 時間と場所を繋ぐ家 路地の抜ける家

※ △はテーマ（土木・工作物）部門を表します。



主催／高知市



竹林寺めぐりのもり霊廟

五台山



- 発注者・宗教法人 竹林寺
- 設計者・有限会社 堀部安嗣建築設計事務所
- 施工者・北村商事株式会社

評 五台山竹林寺の境内に建つ小規模な建築物である。建物の廻りには、以前から奥深い緑豊かな多くの樹木が拡がり、その立地条件の環境に溶け込むように屋根を極力低く抑えた木造の納骨堂（霊廟）である。一つの建築物として独立しており、寺の境内を行き来する人にもオープンな形でのセミパブリック空間のある新しいタイプの納骨堂（霊廟）である。

広く深く延びた出入口の屋根は、林立するような柱に支えられ、外部の樹木の延長線上にあり人の目を引き、また、奥へ延びる両側の外壁は土塀のような趣があり、自然な土の色に溶け込んでいる。また、入口からは池も眺望出来るようになっており、周辺の景観を生かしつつ取り込んだ手法は、人が最後に自然に返っていくという思想を表現しているように思われ、建物と景観のあり方についても深く考えさせられる優れたものである。

高知電気ビル

本町4丁目



- 発注者・四電ビジネス株式会社
- 設計者・大成建設株式会社
本社設計本部
- 施工者・大成建設株式会社
四国支店

評 高知城を北に望む電車通り県庁前交差点の角地に建っていた建物を、老朽化や南海地震対策などにより建て替えられた8階建の事務所オフィスビルである。この場所は高さ制限が緩やかな商業地域であるが、建物の高さを元々の周辺建築物とほぼ同じ高さに抑えたスカイラインにしたことによって、メインストリートの一角で統一感のある街並み景観形成に寄与していることが高く評価された。今後、周辺部で大規模な建物の建て替えが計画されていることから高知城の景観に配慮した自主的な高さ制限のモデルになり得れば、この建物の果たす社会的役割が改めて評価されることになるだろう。

外観のデザインについても、各階に水平に廻した白色の庇がガラスを多用した壁面に変化を与え、シンプルでとてもすっきりとした外観となっている。敷地南側のセットバックした部分に設けられた1階スロープと植栽のデザインも軽やかで良いと評価された。

星窓の家

長浜時絵台二丁目



- 設計者・株式会社 建築研究所 築
- 施工者・建築工房 望 有限会社

評 近郊住宅団地の高台の一角に建つ木造住宅である。建物南面に大きく開放された片流れ屋根が個性的で斬新である。駐車場も建物内に取り込まれ、外観上、非常にすっきりと感ぜられる。建物全体の色調も落ち着いた白を基調にしており、上品で綺麗である。

外観の特徴としては、南面の中程に開口部と駐車場を分離して建物を支えるように見える木製カラーの外壁と、前庭のシンボルツリーは、全体の白い色調の中でこの住宅のアクセントとなっている。屋根の軒先と両側の壁面を大きく張り出すことによって、強い日差しを遮り、ウッドデッキを確保して、建物全体にも陰影を与えている。

建物全体を道路から大きくセットバックさせたことで、開放的空間を取り、白基調の外構フェンスと重なり明るい雰囲気を作り出している。

昭和町の家

昭和町



- 設計者・イーハートブ設計工房
- 施工者・株式会社 響建設

評 市街地の住居地域に立地する木造住宅である。敷地北西側から、道路に沿って玄関へ続く一直線に延びたアプローチの軒先に簾のように見える木製ルーバーが日除け効果をもたらし、植栽もこの一角に潤いを与え、新たな景観を創り出している。建物の平屋部分の屋根を低く押さえたことにより、道路側への圧迫感を無くして明るく開放的な景観を創り出している。

敷地北側のコンクリート造ガレージも直線基調のデザインで西面をオープンにし、北面に通風と植栽のための小窓を開けるなど、閉鎖的にならないように周辺景観に配慮している。西側の植栽も多様な樹木で構成されており、道行く人も楽しめ好感がもてる。外壁の仕上げでは、黒い鋼板に縦方向に押さえ縁として一般的な建築材料を上手く組み合わせて、全体として落ち着いたデザインである。